

もろやままち 毛呂山町

毛呂山町役場 ☎049-295-2112
http://www.town.moroyama.saitama.jp/
毛呂山町観光協会 ☎同上



イメージキャラクター
「もろ丸くん」

ゆずの里「もろやま」「自然との調和を大切にす町」の北西部は、埼玉県立黒山自然公園に指定されています。西部地域を覆う山々は奥武蔵野山並みからの続きで、命の水が毛呂川や大谷木川、阿爾防川などとして自然の恵みを育んでいます。その山すそにひっそりたたずむ「鎌北湖」別名「乙女の湖」は、春は桜、初夏は深緑、秋は紅葉など四季を映し出す美しい湖です。もう一つの自然の恵みは食です。古くは明治の頃から、全国で最初に栽培が始められたという毛呂山特産のゆずは、香りと品質の良さから高い人気があり、各地へ出荷されています。深く刻まれた歴史は町の随所で目にすることができます。康平6年(1063)に始められ、900有余年の伝統を誇る「出雲伊波比神社のやぶさめ祭り」は古式神事が今も伝えられています。



37 鎌北湖

◎毛呂山町大谷木内 MAP D-7
◎あり ◎JR八高線毛呂駅から徒歩60分
または東武越生線東毛呂駅から徒歩70分
山峡にある周囲2kmの小さな湖で別名「乙女の湖」と呼ばれ、ボート遊びや釣りが楽しめます。春は桜、夏は深緑、秋は紅葉と四季を通じて自然を求めるハイカーが訪れています。

見る



40 奥武蔵自然歩道

◎JR八高線毛呂駅から徒歩または西武池袋線飯能駅から徒歩または高麗川駅から徒歩 MAP D-7

鎌北湖から天覧山(飯能市)を結ぶ全長11kmのハイキングコースで、どなたにでも気楽に美しい自然を楽しむことができます。コース途中の物見山は眺望が開け、格好の休憩場所となっています。



新しいグルメ「豚玉毛井(ぶったまげどん)」
毛呂山町の豚肉、たまご、ゆずを使用した一品

ゆず加工品・ゆずの里工房

毛呂山町の特産品のゆずは、表皮が厚く香りの高い高級ゆずです。そのまま、なべやうどん、そばの薬味として利用されているほか、最近ではゆずを練り込んだうどんやワインなどの加工品や地元で生産された食材を用いた農産物加工品も好評です。



39 ゆずの里オートキャンプ場

◎毛呂山町大字滝ノ入585 MAP D-6
☎049-294-8812
◎JR八高線毛呂駅から徒歩30分または東武越生線東毛呂駅から徒歩45分

都心からわずか1時間で奥武蔵の森林浴など豊かな自然を満喫できます。また、やさしいせせらぎや多くの充実した無料施設も揃い、ご家族、グループなどで楽しみいただけます。

遊ぶ

歩く

食べる



36 バラ園(滝ノ入ローズガーデン)

◎毛呂山町滝ノ入地内 MAP D-6
☎090-7639-7025(初野) ◎JR八高線毛呂駅から徒歩30分
または東武越生線東毛呂駅から徒歩45分

正式名称は「滝ノ入ローズガーデン」と言います。滝ノ入地区の地元ボランティア住民により丹精こめて育てられた色とりどりのバラ「1,500㎡ 1,200株」が植えられています。毎年5月と10月には「ばらまつり」が開催されます。

学ぶ



38 新しき村美術館

◎毛呂山町大字葛貫423 MAP F-6
☎049-295-4081 ◎JR八高線毛呂駅から徒歩30分または東武越生線東毛呂駅から徒歩45分
白樺派の武者小路実篤が理想郷として建設した新しき村内にあって、実篤の愛用品や書籍、村の収穫物をソフトなタッチで描いた数多くの絵画など、ゆかりの作品を収蔵・展示しています。

祭り



41 出雲伊波比神社の流鏝馬

◎毛呂山町大字岩井2915 MAP E-6
◎JR八高線毛呂駅から徒歩5分または東武越生線東毛呂駅から徒歩7分

康平6年(1063年)源頼義、義家親子が東北地方を平定した時の記念に奉納したのが始まりで三頭の馬が陣羽織を着た乗子を乗せて走る様は勇壮です。県内で毎年奉納されるのは毛呂山町だけで、埼玉県の選抜無形民俗文化財に指定されています。